

ころばぬ、先の。

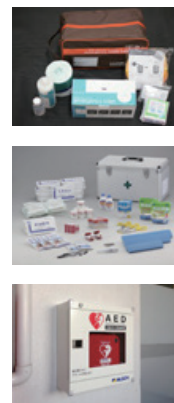
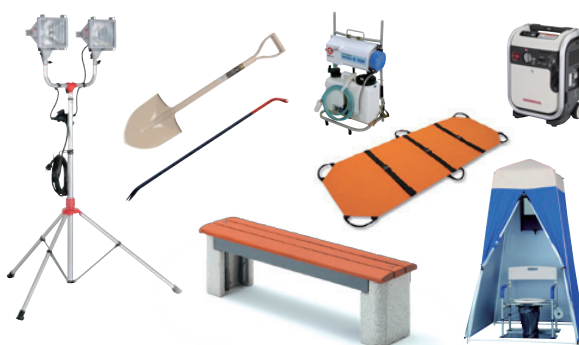
もしもの災害に、備える力を。
私たちの住まいづくりの基本は、
さまざまな危機を想定して作られています。
また、もしもの時にも慌てない準備があれば、
日々の生活の安心にも繋がります。

防災対策

地震や火災・豪雨など、様々な災害を想定して、
幾重もの防災対策を施しています。

マンションの共用部および住空間には、万が一の地震や火災・豪雨など災害に対して、様々な対策を施しています。また、ご家庭では準備が難しい機材を中心に、災害時に少しでも生活環境を確保でき、救助活動にも利用できるような防災備品を選定しています。

■実用性の高い「防災備品」

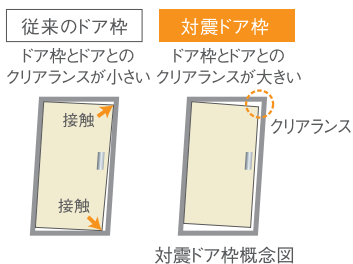


地震対策

もしもの時の震災から、大切な住まいを守ります。

●対震ドア枠

地震などにより扉枠が多少変形しても、ドアを開けて住戸内から避難できるように、戸先部に隙間(クリアランス)を設けた対震ドア枠を採用しています。



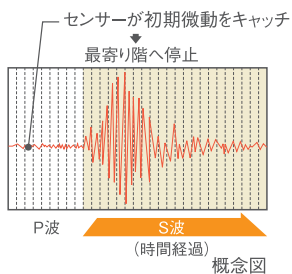
●耐震ラッチ

キッチンの吊戸棚には耐震ラッチを採用。一定以上の地震時の揺れに対し、耐震ラッチが自動的にロックされ、食器などの収納品の飛散・落下を防ぎます。



●エレベーター地震管制システム

地震の際に、乗員を外部へ避難させる地震管制運転システムを採用。本震の数秒前になる初期微動P波をセンサーがキャッチし、最寄り階に緊急停止します。また、停電時も自動着床装置が作動します。



●マイコンガスメーター

地震時に大きな揺れを感知したり、一定量のガス使用が長時間続くとガス漏れと判断し、自動的にガスの供給を遮断。ガスを使用している時に地震が起きても、ガス漏れを防ぐことができる、安心のシステムです。
※ガス流量によって遮断されるまでの時間は異なります。

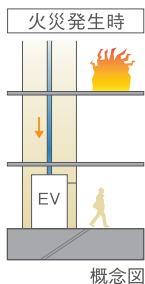


火災対策

火災時にも、迅速対応の体制を整えています。

●エレベーター火災管制システム

火災が発生した際、エレベーターが避難階へ直行して着床。乗員の迅速な避難を促すとともに乗員が閉じ込められるのを防ぎます。



●消火器

もしもの火災の際、すぐに使用できるように、共用部の各所に消火器を設置しています。



●火災感知器

各居室、キッチン等には火災感知器を設置し、火災時には住戸インターホンや管理事務室に警報音で知らせます。



●安全機能付調理器具

なべ底の温度を感知し、油が自然発火温度に達する前に自動的にガスを止める「温度センサー」や、煮こぼれなどで火が消えると自動的にガスを止める「立ち消え防止センサー」等を全口に搭載しています。



豪雨対策

雨水が住戸内に入らない、さまざまな工夫。

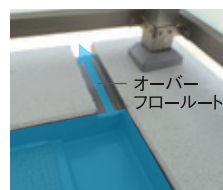
●樋の吹き上がり防止対策

豪雨時、雨水が集中流入しやすい箇所に、開放型の蓋を設置するなどの対策を施し、樋への逆流を抑止し、上階への吹き上がりをしにくくしています。



●豪雨時のオーバーフロー対策

豪雨時に樋や側溝などの雨水排水ルートが万が一詰まっても、屋内に雨水が浸入することが無いようオーバーフロールートを確認しています。



※物件により仕様・設備は異なる場合があります。
※写真はすべて参考写真です。